



2022/4/24 SUN

平田満企画 「対話を考える」 vol.1

哲学対話ワークショップ ～聞くということ～

プラット・アソシエイト・アーティストの俳優・平田満発案の新企画「対話を考える」を始めます。

第1弾として、小学校や中学校・高校、都市や地方の地域コミュニティなど、様々なところで『哲学対話』を行ってきた梶谷真司さんを招き、自由に語り、互いに話を聞き合い、考えを深めるワークショップを実施いたします。今回は「聞くということ」にフォーカスをあてて行います。

俳優は「話す」ことよりも「聞く」ことのほうが難しいといわれます。自分ばかり喋って相手の話すことを聞いていないと空っぽの会話になります。表現というと自分の考えや感情を表すことだと思いがちですが、それをどう聞いてくれるかで真実味、深みも変わってくるのではないのでしょうか。俳優に限りません。声の大きい人や力を持った人が会話の主導権を握ったり、難しい言葉についていけなかったり、残念な思いを経験した人は多いと思います。コミュニケーションがうまくいかないのはなぜでしょうか？

そのようなことを考えて、「聞く」ということをテーマに、様々な形で「対話」というものを皆さんとともに考える場を作りたいと思いました。聞いてもらえることで自分が尊重されている、考える自由がある、ということを感じたり、人の話を聞き、考えることで固定観念を離れ、本来の自分とは何者かを見つけることができるのではないかと期待しています。

プラット・アソシエイト・アーティスト 平田満

哲学対話

子どもたちの思考力を養うために70年代にアメリカで始まった「子どものための哲学」に由来する。それは、哲学者の思想を教えたり抽象的な問題について議論したりするのではなく、各人が一人で思索にふけるのでもない。身近な問いから出発して、グループで一緒に問い、考え、話をしていくものである。中学校以上が一般的だが、小学校や幼稚園で行われることもある。いずれにせよ、共に話すことを通して共同で思考を広げ、深めていくのが哲学対話である。

(インクルーシブ・アーツ・フェスティバル2019 HPより)

2022年4月24日〔日〕13:00～17:00

□場所＝穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 創造活動室 A

□募集人数＝10名程度（選考）プラットで開催した哲学対話未経験者優先

□対象＝高校生以上

□参加費＝1,000円

□講師＝梶谷真司

1966年、名古屋市生まれ。89年、京都大学文学部哲学科卒業。94年、京都大学院人間・環境学研究科修士課程修了。97年、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。京都大学博士(人間・環境学)。現在、東京大学大学院総合文化研究科教授。



応募方法

■申込締切：4月8日〔金〕17:00必着

■申込：オンライン＝劇場ホームページの専用申込フォームより必要事項を記入して送信
窓口・FAX＝参加申込書に、必要事項を記入の上、プラット一階窓口、
またはFax(0532-55-8192)

お問合せ：穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 〒440-0887 愛知県豊橋市西小田原町 123 番地

TEL 0532-39-8810 FAX 0532-55-8192

主催：公益財団法人豊橋文化振興財団